



# ささ郷だより

## 平成27年度 北日本新聞 地域社会賞を受賞

去る平成27年11月2日、2015年度の北日本新聞文化賞等贈呈式が富山市のANAグランドプラザホテル富山で行われました。

68回目となる文化賞はノーベル物理学賞受賞者の梶田隆晃氏が、笹川地区は地域社会賞を受賞しました。

このような状況から、地区の運営に対して様々な問題や困難な課題が多く発生しており、特に、担い手不足等から生活の基盤である消防団活動を含めた安全・安心な諸活動や伝統行事等に少なからず支障が出始め、将来に対する悲観的な考え方が広まりつつありました。

こうした中、平成21年に自治振興会と笹川友愛会が中心となり、途絶えていた盆踊りを復活させて一定の賑わいを取り戻しました。この成功により地区の活性化に手応えを感じ、翌々年には有害鳥獣に強い実バラの栽培を始め、東京・大田花井市場では高品質との好評を得たことから、みょうがやワサビなどと合わせて特産品のブランド化も進めてまいりました。



### 平成27年度 北日本新聞 文化賞等 贈呈式 平成27年11月2日



#### 受賞のことは 笹川自治振興会会長 小林 茂和 様

平成27年度の北日本新聞文化賞において、笹川自治振興会が伝統ある地域社会賞をいただいたことに対して、笹川地区民のみならず笹川の出身者はじめ、多くの方々からご支援・ご指導を戴いた皆様と共に心から喜びを分かち合いたいと思います。

笹川はご承知のとおり、約830年前の平安末期に宮崎太郎が笹川で匿っていた「北陸の宮」を木曾義仲が擁立して平家討伐に出発した地として、輝かしい歴史があり豊かな自然と文化が薫る山里であります。

歴史的な景観を持つ笹川も近年、急激な人口減少と高齢化が加速的に進み、過去20年間で4割の人口が減少し、今年度の4月にはとうとう300人を割り286名となり、高齢化率では朝日町で一番高く47.2%となりました。

さらに平成25年8月には富山県から「新幹線時代の定住・半定住受け入れモデル地域育成支援」地区として県内4箇所の1つとして選定され、住民を主体とした「子どもの声がこだまする 安全・安心な里づくり」を目指し、移住促進事業を図るための8つの推進チームからなるプロジェクト「かがやき」を発足させました。

各チームは、それぞれの課題に向かって創造的に取り組み、朝日町をはじめとする各行政機関等とも密接に連携しながら基盤づくりをし、積極的に移住者を迎え入れました。また平成27年5月には「移住交流体験施設ささ郷ほたる交流館」が国・富山県・朝日町のご支援により完成の運びとなりました。

(次ページにつづく)

#### お祝いのことは

##### 朝日町町長 笹原 靖直様

第66回北日本新聞地域社会賞のご受賞、誠にありがとうございます。

このたびの栄えある受賞は、笹川をこよなく愛する自治振興会の皆さまのご努力とご功績が広く認められたものであり、町として深く敬意を表しますとともに、笹川を通じて朝日町の魅力向上にもつながる受賞となり、誠に喜ばしく思っております。

笹川自治振興会の皆様方には、高齢化や人口減少が進む中、笹川地区の活性化のため、積極的に地域おこしに取り組まれております。帰省客などが故郷に帰ってきて楽しめるように平成21年に復活した盆踊りは、今では地区内外から多くの人が集まるようになり、

地区の賑わい創出につながりました。また、定住促進を目的としたプロジェクトチーム「かがやき」の設立、実バラなどの特産品のブランド化、高齢者の健康づくりの一環としてノルディックウォークの推進など、特色ある取り組みを進めておられます。

昨年5月には、古民家を改修し田舎暮らしを体験できるようにした施設「ささ郷 ほたる交流館」がオープンいたしました。笹川自治振興会にはこの施設の指定管理者として管理運営にご尽力いただいているところでありますが、当施設の活用を図りつつ、豊かな自然、美しい景観を保ちながら、今後ともより一層笹川地区が活気あふれる地域となることを願っております。

結びに、笹川自治振興会の皆様方の今後ますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げ、お祝いのことはといたします。

### 平成27年度 北日本新聞 地域社会賞 受賞記念祝賀会

平成28年3月12日



#### お祝いのことは

##### 北日本新聞 社長 板倉 均 様

朝日町笹川自治振興会が平成27年度の北日本新聞地域社会賞を受賞されましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

北日本新聞地域社会賞は地域社会の発展に貢献し、功労が著しい個人や団体に贈られるもので、今回で66回を数えます。笹川地区の住民の皆さまが「地域を元気にしたい」との情熱を持ち続け、積み重ねてこられた営みにあらためて敬意を表します。

全国的に高齢化や人口減少が進むなか、笹川地区では積極的に地域おこしに取り組む、自治体関係者から注目を集めています。

とくに、首都圏などで暮らす地区出身者の声をきっかけに2009年に復活させた盆踊りは、地区外からも集まる人気行事になっています。

ホテルが飛び交う地区であることから、自然豊かな地が生み出す特産品に「ほたる」の名を付け、ブランド化にも力を注いでいます。定住の受け入れや交流人口の拡大にも取り組まれ、本紙でも連載などで紹介しました。こうした地道な活動は継続されることで、富山県内や全国の他地区にも励みとなることでしょう。

「子どもたちの声がこだまする山里」。笹川自治振興会の小林茂和会長の熱い思いが、さらに大きな実を結ぶ日々を心待ちにしたいと思います。

終わりになりますが、笹川自治振興会が今後一層、地域の活性化に寄与されますとともに、振興会の皆さまがますますご健勝でご活躍されますようお祈りいたします。

(前ページの続き)

この交流体験施設においては、情報を発信しつつ、多くの人達とのふれ合いや交流体験をしていただいております。その中で今年2月には移住を決意された子育て家族の6人が笹川に引っ越して来られました。

一方、超高齢化が進む笹川では「元気で生きがいある里づくり」を目指し、自らの身体を鍛えつつ、衰えを防ぐことを目的にノルディック・ウォークを導入し、健康寿命延伸の活動をしてまいりました。

この取り組み過程では、富山大学附属病院やあさひ総合病院の先生からもアドバイスやご支援を戴き、各自が健康に関心を持ちつつ、元気で明るい声が響き始め、地区内を歩くことにより見守り隊的な役割も果たす相乗効果も得ています。今では、日常的に多くの方がノルディック・ウォークを楽しみながら歩く風景は、笹川の風物詩の一つにもなっています。

これからも中山間地での暮らしの環境は厳しいものになると思いますが、笹川自治組織の永続的存続のためには、困難であっても常に未来志向の課題を提起しつつ、互いに助け合って、地区の理念とも云うべき「みんなが笑顔で住みやすい里 笹川づくり」に邁進したいと、今回の受賞を機会に改めて決意する次第です。

最後に、笹川自治振興会のこれまでの取り組みにたいして「産・官・学・住」が一体となって多くの人達のご協力、ご支援を戴いたことに深く感謝申し上げます、受賞のことばとさせていただきます。

**編集後記**

ささ郷だより 第13号をお届けいたしました。昨年6月の12号発行以来1年ぶりの発行となりましたこと、お詫び申し上げます。

ふる里、笹川の自治振興会活動が高い評価を頂き、昨年11月2日、平成27年度 北日本新聞 地域社会賞を受賞されました。

日ごろの活動が多方面から評価されていることは誠に喜ばしくお祝い申し上げます。益々のご発展をお祈りいたします。(1頁に掲載)

会員の皆様におかれましては、ふる里の活性化につながるアイデアをお持ちでしたら、ぜひお寄せ下さい。東京笹川会として実現に向けて取り組んでいきたいと思っております。

今年の秋祭りは、8月27日(土)とのこと、諏訪大社の大礼と重なりますのも深い因縁でしょうか。

昨年同様、ささ郷まる交流館での宿泊を計画して参りますので、ぜひご参加下さい。

梅雨のうっとおしい季節に入りましたが、ご家族の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたしております。

平成28年6月20日  
長井 清武

[tk-nagai@sasagou.com](mailto:tk-nagai@sasagou.com)  
<http://www.sasagou.com>

**第23回 東京笹川会 総会・懇親会**



6月5日(日)、東京都品川区大崎のニュー・オ・タニーン東京で開催いたしました。

笹川より、自治振興会会長 小林茂和様、公民館館長 折谷隆三様、友愛会会長 竹内弘様、元北日本新聞 入善・朝日局長 浜松聖樹様、稲作グループの方々、9名、会員27名、合計36名の皆さんにご参加いただきました。改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

会長挨拶で、【青春】とはいかなるものかに託けて、笹川のノルディックウォークで健康維持を保っているご婦人の方の活動、そして稲作グループのアイデンティティ【笹川に生きる者、笹川の財産である田んぼを守る】を借越ながら紹介させていただきました。



**総会の部**  
平成27年度事業報告および会計報告を行い、ご承認いただきました。



最後に平成28年度事業報告(案)、予算(案)をご提案しご承認いただきました。

稲作グループ参加者の自己紹介、引き続き、活動については副会長の竹内渉様に行って頂きました。



(懇親会の場で、会員の皆様から、今年秋に出荷するお米の予約を沢山受け承ったとのことでした。会員の皆様、ありがとうございました。)

**懇親会の部**  
乾杯の音頭は、田代悦子さんに行って頂きました。



**二次会の部**  
場所を同ホテルの3階レストランに移し二次会を行いました。カラオケ、踊りに興じました。



来年開催する第24回 総会・懇親会は、平成29年5月28日(日)、ニュー・オ・タニーン東京で開催予定です。多数の方々のご参加をお願いします。